

競技注意事項

1. 本大会は、2024年度日本陸連競技規則並びに本大会の競技注意事項により行う。
2. 選手の受付は、各種目の記載された招集時刻に各自受付をし、その場から離れずに係の指示に従うこと。受付は、ゴール前方の倉庫内で行います。
※受付終了時刻は、競技開始時刻のトラック競技は15分前、フィールド競技は20分前です。
※受付の時、トラック競技の出場者は、腰ナンバーカードを受け取り、右腰に付けること。
3. 受付終了時刻に遅れた者は、原則として棄権とみなす。(棄権の場合も申し出ること)
4. 同時刻に2種目の競技をする者は、各競技の審判に申し出ること。
その場合は、トラック競技を優先とする。
5. 腰ナンバーの受け取りは原則出場者とするが、低学年及び他の種目に出場しているなど、特別な事由がある場合は、代理人の入場を認める。
6. 選手は、その競技をする以外はトラック及びフィールド内に立ち入ることはできない。
7. アスリートビブスは、団体申込をしている選手は、ユニフォームの胸・背部に付けること。
トラック種目に出場する選手は、招集時に腰ナンバーカードを受け取り、必ず右腰につけること。
8. スターティングブロックの使用は2年生以上で、自力で「着脱」できる者とする。スターティングブロックを使用しない場合は、出発係にその旨を伝え、スターティングブロックを撤去してもらうこと。
9. 100m、80mH、リレーのスタートは、クラウチングスタートを原則とする。
幼児・1年60mのスタートは、スタンディングスタートでもよい。
10. スタートはイングリッシュコールとする。また、同じ競技者が2回の不正スタートをしたときに、その競技者を失格とする。
11. リレーのオーダーは、その競技招集終了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
オーダー用紙の受け取り、提出は、競技者係(選手受付所)で行うこと。
12. リレーについてはバトンゾーン30mとする。
13. トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順はプログラムに記載されたとおりとする。
フィールドの試技は3回とする。
14. 800mのスタートは、すべてオープンスタートとする。
15. 80mHは、ハードルの高さ4年生は60cm・5～6年生は70cm、スタートから第1ハードルまで13m、インターバル7m、最終ハードルからフィニッシュまで11mとする。
16. 走幅跳で砂場に入らない跳躍は計測しない。
17. 走高跳(はさみ跳び)でのマットへの着地は、必ず足裏からとし、背・腰からの着地は無効試技とする。
18. 走高跳におけるバーの上げ方は、次のとおりとする。(天候その他の事由により変更することもある)
男子・女子とも 85cm(練習) 90 95 100 105 110 115 120 125以後 3cm刻み
19. 砲丸の重さは、男女共に2.721kgとする。
20. ジャベリックボール投は、助走距離を15m以内とする。
21. 砲丸投とジャベリックボール投の競技では、競技場備え付けのものを使用する。
ただし、朝の練習時等には貸し出さないので、各自、用意すること。
22. 競技場はトラック、フィールドともに全天候型ウレタンと舗装のため、スパイクピンは全天候用で、長さは9mm以下を使用すること。
23. 抗議申し立ては、チーム及び学校の責任者が、記録発表後30分以内に行う。
24. 選手は、スポーツマンらしい態度で競技に臨むこと。
25. 記録証は全員に発行しますので、競技終了後、本部席で受け取ること。(発行までに競技終了後から30分以上かかりません)
26. 今大会の最優秀選手(1名)と優秀選手(3名)には、賞を授与する。
27. 団体登録しているチームは、アスリートビブスを回収しませんので、来シーズンまで各チームで保管してください。なお、欠番しているアスリートビブスについては、来シーズンまでに作り直すなどの処置を行ってください。個人の申込みまたはチーム不足している場合は付けなくてもよい。